

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	ふるさととの自然と文化を学ぶことによって、ふるさと意識が醸成される。	施策の成果指標又はムトス指標
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	当事業が平成22年度に実現されたため、今後「ドームシアター運営事業」(別進行管理表)で目的達成に取り組むことになる。	
	後期に向けた課題		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	和歌山大学観光学部尾久土正己教授の支援を受けることにより、地域資源の紹介や観光などプラネタリウムの活用の幅が広がった。またドームイベントを平成21年度および22年度に実施し、デジタルプラネタリウムの機能を市民に周知させることができた。これにより市民理解が広まり、更新事業が実現可能となったと考えている。	
	後期に向けた課題		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	使える機器を再利用した。	
	後期に向けた課題		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	条例および条例施行規則を改正し、プラネタリウム観覧料の見直しを行った。	
	後期に向けた課題		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してありましたか	4年間の振り返り	美術博物館協議会や自然部門評議員会ではプラネタリウム更新の必要性が意見として出されたり、飯田御月見天文同好会などの市民団体からも更新要望が口頭で出されていた。	
	後期に向けた課題		
全体を通じて	4年間の振り返り	今後、更新された新プラネタリウムの活用にあたって市民団体やボランティアなどの関与を検討したい。	
	後期に向けた課題		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	対象や意図を修正する必要はありますか	成果指標や指標値を修正する必要はありますか
----------------------	--------------------	-----------------------

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input checked="" type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
--	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------